

岩手地域総合研究所「くらし・福祉」調査研究部会 第4回公開講座

「知的・精神・発達障がい者への支援について考えます。」

コーディネーター 社会福祉法人岩手更生会
理事長 細田重憲

第1回目、第2回目は私の方から、映像や資料をもとに、障がいの概要等についてお話をさせていただきました。第3回目は当事者、あるいは当事者を支えている親ということで、川畑さんには重度の障がい者への自立支援ということで、また、藤村さんには重い障がいを持つ子どもさんの家族とい



うことでお話をいただきました。大森さんは盛岡市役所の障がい福祉課の課長補佐の方ですが、盛岡市の障がい者福祉の現状等についてお話をいただきました。ということで、今日は4回目になります。

今日の趣旨は、知的障がい、精神障がいについてです。障がいの中でも身体障がいについては比較的取り上げられたりすることが多いのですが、知的障がい、精神障がいについては様々な課題がありますが、なかなかみなさんに理解していただけないところがありまして、そこを取り上げました。たぶん年配の方々には失礼なのですが、みなさんが若いときには、こういうことがあるのかということを経験したことがないのかもしれない、いま発達障がいという、これも障がいの一部ということになっていて、今までの障がいに関わる対応とはかなり違うことが求められておりまして、第一線で苦勞されておられる方からのお話を聞きたいと思って設定をいたしました。障がいというのは、身体障がいだけ考えても、視覚障がいや聴覚障がいの方もおられるし、下肢、上肢、体幹とか、内部障がい、心臓とか肺の障がいの方もいるということで、身体障がいと一括りにできないぐらい多様なわけがございます。さらに知的障がい、精神障がいということで、ひとつのところから全体を見るというのはなかなか難しいこと

なのです。そうは言いながら、今日は精神と知的というところを通して、障がいに関わる全体像みたいなものをみなさんと一緒に考えたいということと、発達障がいについては、我々も勉強するということになるのかもしれませんが、現実がこうだということを少し認識したいと思っていますところでございます。最初のお話は、社会福祉法人岩手更生会障害者支援施設緑生園です。私がそこの理事長なので、業務命令で出したわけではないのですが、こういう様々な支援の活動について経験の深い方ということで来ていただきました。玉山さんからお話を伺います。それから、山下さんは社会福祉法人みやま会という、岩手山の国立青少年の家に行く方角にあります。街中からはずっと離れていますが、そこで地域を相手に仕事をしておられるという方でございます。それから、工藤さんは社会福祉法人千晶会太田の園という施設がありますが、そこの職員として長く活躍されて、今は盛岡市基幹相談支援センター所長というお立場で、毎日様々な障がい当事者、ご家族の対応に奔走しておられます。なかなか彼と話をするのが難しいことも時にはあるぐらいお忙しい方であります。

なお、みなさまのお手元に資料として 3 人のレジメが入っているかと思えます。そのあとに、私が一応作っておいたのですが、発達障がいの法的定義というものがあります。それから、質問・意見の用紙がございます。3 人の方からお話をいただいたあとで質疑を行いたいと思えます。できるだけやり取りをすることが一番勉強になると思えますので、簡単でいいですから書いていただいて、それに答えていきながらお互いの認識を共通化し深めたいと思えます。それでは最初に玉山恵理子さんからお話を伺いたいと思えます。